

第29回 都中P広報紙コンクール（総評）

東京都中学校新聞教育研究会 会長
豊島区立明豊中学校
校長 小林 豊茂

広報紙コンクールに多数ご応募いただきありがとうございます。入賞されました学校をはじめ、各学校とも応募作品を拝見しますと、生徒の活躍や学校行事の様子等が、写真と共に紙面に掲載されており、PTAの皆様の中学校教育に対するご理解・ご協力の様子が伺われ、大変感謝申し上げます。

広報紙を企画編集される担当の皆さんは、年々受け継がれる掲載内容があったり、今までにない工夫がされていたりとお苦勞も多いと思いますが、興味深く見させていただきながら、審査をさせていただきました。

最終審査に残った作品には、PTA広報紙ですので、当然ながら各学校のPTAの活動が紹介されたり、活動したことが報告されたり、読者（PTAや地域関係者等）への「周知」がうまく図られるよう紙面に工夫がありました。さらに、紹介・報告等にとどまらず、様々なPTA活動を会員によって評価し考察している記事、いわゆるPTA活動のさらなる充実を求めた「啓発」に努めたものまであり、一段と工夫した作品も見受けられました。

企画編集の面では、校長や会長のあいさつの掲載でも、ただ記事にただけではなく、インタビュー形式で親しみやすく紹介するなどの時間をかけた取材による紙面づくりもありました。

また、PTA会員の先輩である卒業生の保護者から、受験生をもつ親へのアドバイスなどを盛り込んだ企画や新たな教育課題（例えば、特別な教科「道徳」）を、校長や教員に解説を求め、特集した企画など、読み応え十分な立派な作品も多々ありました。

また、限られたページの広報紙でも段組みやレイアウトなども、市販されている雑誌や新聞折り込みのチラシ顔負けの紙面構成に工夫がなされ、甲乙つけがたく見やすく、カラフルなものになっていました。

読み手であるPTA会員に、学校の行事や生徒の様子を、わかりやすく、そして、愉しく伝わるよう意識して作成されていることがわかりました。今後も、ますますPTA活動の充実とともに、各学校の生徒の様子や教育活動の最新の情報提供や特集等の記事を盛り込んだ広報紙となるよう願っています。